



NPO法人 堺観光ボランティア協会ニュース

3月号(通算250号)
2018年(平成30年)3月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町2-3-29
(瓦町ビル4F)
Tel & Fax：072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL：<http://www.nposakai.org>

百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産国内推薦決定記念！ 「公開講演会・シンポジウム」多数の お客様をお迎えして開催しました。

去る2月15日(木)に堺市総合福祉会館において「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産国内推薦決定記念」公開講演会・シンポジウム(以下、講演会と略)が開催されました。

公開講演会は、当協会が日頃お世話になっている堺市民の皆様、それぞれの分野でご活躍の講師をお迎えし、講演をしていただくという実に栄えあるイベントです。

テーマの選定から講演会開催日時、会場、また講演会周知方法や役員の選任まで詳細なことを検討・協議して準備を進めました。特にこの度は堺都市政策研究所(堺市の外郭団体でシクタンク：都政研と略)との共同開催となりました。これは、都政研の理事長でもあります、大阪府立大学及び関西大学名誉教授の宮本勝浩先生に掲題のテーマでご講演いただきたいとのお願いに伺った時に、共同開催のお話が持ち上がり、そしていくつかの課題をクリアし、実現に至ったものです。



講演テーマにつきましては、今年が明治維新150年であり、「堺事件」を取りあげてはどうかとか、「大和川付替え300年」も堺の今に係る重要な事柄である、との意見が出されましたが、

それらを押さえて「世界遺産に向けてのテーマ」が選ばれたのは、やはり堺市民が最も関心を寄せているテーマだと振り返ることができます。



基調講演で宮本先生が述べられた「堺市の経済効果338億円」の部分では、まるで自分の懐にそれがそっくり入ってくるような錯覚を覚えながら頷いている聴講者もおられました。先生の確かな理論に基づくお話故かな、と思いました。同様に堺の強みはモノづくりの強固な地盤があり、観光に訪れた人たちに継続して魅力を感じてもらえるとすれば、この連綿と続いている堺のまちの基礎力(歴史と文化)故であるとのお話に納得させられました。そして観光とは、訪れた場所の良さを知る事、相互の交流を深める事、お話を伺いながらそう感じました。

狭間副市長や川上理事長を交えたパネルディスカッションでは、行政の立場、観光案内の立場、それぞれで進めてきたお客様への「おもてなし」など、今後に夢を抱くお話をされました。

当協会発足以来200万人のお客様をご案内できた事も少なからず「堺」に貢献できたかと、嬉しく思います。

仁徳天皇陵古墳を始めとする百舌鳥・古市古墳群が、将来に亘って堺市民に慕われ、そして全世界の人々から何度でも訪ねたいと思われるように、私達自身が、堺を愛する市民であらねばと強く決意させていただいた講演会でした。

(田辺 謙二 記)

☆ 鉄砲鍛冶屋敷 井上関右衛門家資料調査報告会

～蔵のとびらを開けてみれば～セミナーに参加して

【北野しどり】

1月21日(月)13:30～16:30 関西大学さかいキャンパスにて、関西大学名誉教授・兵庫県立歴史博物館長の藪田 貫氏から「鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家から見えてくるもの」と題して、「～蔵のとびらを開けてみれば～鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家資料調査報告会」が、開催されました。

鉄砲鍛冶屋敷は堺市の北西部、北旅籠町にあって幸運にも戦災を免れた地域であり現存する鉄砲鍛冶屋敷としては日本唯一のものです。

大洲での井上関右衛門の存在の大きさに驚き、早速平成26年10月から月2回“蔵のとびらを開き”調査を始めました。平成28年4月から調査の進捗を速める為、当協会員を加えた体制で実施し、その結果、多くの古文書や素晴らしい文化財の発見がありました。

堺市はその中の鉄砲関係の古文書11,770点を関西大学なにわ大阪研究センターに調査依頼し3年間の調査結果の報告会を開く運びとなりました。

第一部の藪田貫名誉教授の講演では大坂の役で手柄をたてた徳川家の庇護を受けた芝辻理右衛門・榎並屋勘左衛門・芝辻長左衛門は共に堺鉄砲年寄(三鍛冶)地位を得て重責を務めました。

鉄砲年寄は江戸幕府の軍事要塞とも云える大坂城に保管される一万挺とも云われる鉄砲の維持管理を任される重職でした。しかし文政3年(1820)の芝辻家文書では『鉄砲鍛冶15、6軒 安価な猟師筒・百姓威筒張立では堺名産の名目に関わる』と堺鉄砲産業の衰退ぶりが書かれています。

しかし多くの井上家文書(井上家所伝鉄砲伝来記、井上関右衛門口上書、大洲藩加藤家注文直筒「覚」、諸家様方御出入先名前帳、鉄砲注文書、鉄砲御断控、大坂内大筒の鑄形値積り入札、七道浜鉄砲打処絵図、雷金砲注文、海岸防備のため一貫目玉筒張立上納など)から見えるのは、江戸期後半の鉄砲産業の衰退が覆された事です。

榎並屋勘左衛門、芝辻理右衛門は紀州街道沿いで店売りし既製品を扱って衰退したのに反し、井上家は2筋西裏筋の中浜筋で、一挺一挺難しい注文書により武家方誂鉄砲を製造し、信頼を得て技術を磨いて来ました。その結果、堺では300挺超も作られ出入り先には大名旗本が沢山ありましたが、その多くは井上家のものです。

日本の鉄砲の歴史が書き替えられた事を藪田先生が熱く語られました。

享和元年(1801)～文化6年(1809)には、第8代井上関右衛門吉次が鉄砲年寄を努め、徳川幕府の軍需の要、大坂城の一万挺の火縄銃保管、維持管理を担っていました。天保13年(1842)「鉄砲鍛冶取締定書并諸家様方出入先名前帳」では井上家の大名旗本の出入は61家あり、堺随一になっています。

堺最後の鉄砲鍛冶第10代井上関右衛門寿次の功績は大きく井上家の鉄砲の歴史を守りながら、醤油醸造販売や他の業種を商いながら巧みに幕末維新を切り抜けた賢人で、多くの古文書や文化財、鉄砲などを整理し残こした事です。 ⇒次ページへ

* 3月号 インデックス(目次)

公開公演会・シンポジウム	P 1	定点ガイド部ニュース	P 12
鉄砲鍛冶屋敷報告会に参加して	2	広報部ニュース(月間予定表)	15
事務局ニュース	3	インフォメーション	15
総務部ニュース	3	ガイド便利MEMO	17
研修部ニュース	4	トピックス	18
事業部ニュース	5	あ・ら・かると	22
ツアーガイド部ニュース	5	施設・店舗の休館(休業)日	17
企画部ニュース	11	平成30年1月 活動実績と内容	24

第二部は黒田教授と当主井上修一さんと弟俊二さんとの鼎談で苦労話や昔話のエピソードをお話くださいました。

開会の挨拶をされた竹山堺市長も、閉会の挨拶をされた芝井関西大学学長も講演しながらの熱弁で最後まで盛り上がりを見せたセミナーでした。

最後に、堺市史に記載が無かったことから、本格的な調査は今回が初めてでしたが、素晴らしい価値が確かになった事で、屋敷と共に如何に活用されるのかが大変興味のあるところです。今後さらなる研究をして頂いて次回の報告会を大いに期待をしたいと思います。

この報告会が開かれるまでの経過で忘れてならないのは、当協会員土井健一さんが、井上家と大洲市との間での協力や大洲城復元10周年記念特別展への参加や加藤藩主の墓参などを調整され、平成26年8月大洲城復元10周年記念特別展示「井上関右衛門展～大洲藩の鉄砲を作った職人～」に当主らと共に堺観光ボランティア協会有志と参加し、堺市文化財課職員も随行した事に始まります。

会員調査員の皆さんは、こんなに素晴らしい資料が出た事に感動しながら報告会を聞き入っていました。

事務局ニュース

* 理事会・運営会議報告

平成30年2月5日(月)午後2時から、堺市総合福祉会館 第1会議室において、第3回理事会と運営会議を開催しました。30名の理事・監事が出席しました。

理事会では、①「役員に関する規定」について ②予備費の適用申請 ③慶弔・傷害見舞金規定の改正案の3件が討議の上、承認されました。

運営会議における各部からの活動報告については、各部門のニュース欄を参照願います。

* 理事会・運営会議報告

平成30年度予算編成の各部とのヒアリングを、2月6日(火)と7日(水)に実施しました。

* 理事長報告

① 国際記念物遺跡会議 (International Council on Monuments and Sites) イコモスは、ユネスコの諮問機関として世界文化遺産の登録審査を1965年から担っており、153か国、約1万人の専門家で構成されています。その会長に日本人が初めて選ばれました。

ちなみに、活動そのものは無報酬だそうです。世界文化遺産の登録数は800を超え、有名な文化遺産はほぼ登録されています。就任の弁では「今後は、学問的な議論がないまま推薦されてくるケースも想定されます。普遍的な価値があるかどうか慎重に判断する必要がある」と述べています。

② まち旅ループ最終運行

現在のままの運行は、3月で終了します。

◇ 各部門からの連絡・報告事項

各部門からのニュースを、参照願います。

総務部ニュース

* 会員の状況

2月の会員の移動はありません。

この結果、3月1日現在の正会員数は244名、賛助会員数は16名です。

* 平成30年春季特別公開の配置表の同封

春季特別公開(公開期間の4月5～8日)の配置表を同封します。

「3月活動予定表」には、特別公開に入っていたいただける方のみの“○”印を提出いただきました。提出いただいて配置に入っていない方は、定点の配置に廻っていただきたいので、4月活動予定表には再度“○”印の記入をお願いします。

***「4月活動予定表」の提出時に、平成30年度の会員継続の確認をします**

「4月活動予定表」の氏名欄の下に‘会員の継続可否’の確認枠を設定しました。該当欄に必ず「○印」を記入して提出をお願いします。なお、退会される方は通信欄に記述可能な範囲でその理由をご記入ください。

***活動交通費の振込みの連絡**

平成30年1月と2月の活動交通費を3月20日ごろまでに、皆様の銀行口座に振り込みます。27期入会の方には初めての振り込みになりますので口座に入金の確認をお願いします。

研修部ニュース

***29年度会員交流会**

1月23日(火)、1月31日の両日に実施した29年度会員交流会には多数の方にご参加頂き無事終了する事が出来ました。会員の皆さまのご協力、有り難うございました。今回の交流会で気付いたことや来年の交流会の希望地等がありましたら研修部員にご連絡をお願いします。

***29年度第2回全体研修会**

3月28日(水)午前と3月30日(金)午後に、本年度第2回目の全体研修会を開催します。演題は「戦国期 堺人物伝 一牡丹花肖伯を中心に」と題して元堺博物館学芸課長の吉田豊さまに講演して頂きます。申し込みは協会ニュース2月号に同封したお知らせの要領で2月28日までに申し込んで下さい。但し、応募多数で欠員が出た場合は調整させて頂く事もあります。

***27期生入会後の状況**

12月22日に入会の27期生12名の皆さんは、1月から21F展望ロビーと大仙案内所で、元気に配置に就いています。3月からは、残りの定点箇所についても研修を行い、順次定点活動箇所の拡大を行っていきます。配置で一緒になられた方はやさしくフォローをお願いします。

気付いたことや来年の交流会の希望地等がありましたら研修部員にご連絡をお願いします。

27期生入会後研修予定表

開始時間

場所

3/1	木	27期入会後研修	10:00	南宗寺
			13:30	さかい利晶の杜
6	火	27期入会後研修	10:00	南宗寺
			13:30	さかい利晶の杜
9	金	27期入会後研修	10:00	千利休屋敷跡
			13:30	山口家住宅
			14:50	清学院
14	水	27期入会後研修	10:00	千利休屋敷跡
			13:30	山口家住宅
			14:50	清学院
19	月	27期入会後研修	10:00	堺駅観光案内所(西コース)
			13:30	堺駅観光案内所(東・南・北コース)
22	木	27期入会後研修	10:00	堺駅観光案内所(西コース)
			13:30	堺駅観光案内所(東・南・北コース)

事業部ニュース

*「三好長慶公武者行列」 in 大東に、応援参陣します

3月3日(土)大東市で開催される「三好長慶公武者行列」の応援に、当協会から6名の武者が参陣します。

*さかい利品の杜 開館3周年企画 文化講話対談「天王寺屋と堺」が、開催されます

3月11日(日)13時から、さかい利品の杜の三千家茶室広間にて、大徳寺龍光院小堀月浦住職をお招きしての記念講演会が行われます。当日は龍光院御好茶名「大通庵」の呈茶のお楽しみもあります。本企画は、2022年の利休生誕500年に向けての歴史文化活動を応援するもので、当協会が企画プロデュースを担当、特別協力しています。

*「山之口商店街スプリング・フェスタ」が、開催されます

3月18日(日)10:00～ 山之口商店街スプリング・フェスタが、開催されます。華美芝居と世界文化遺産登録を睨んで古墳グッズの販売をします。

*「リンクスクエア18」が、開催されます

3月21日(水・祝)10:00～ 堺市市民交流広場Mina さかいを会場に「リンクスクエア18ー堺伝統産業の集いー」が開催されます。参加者に陣羽織を着て貰ってのミニガイド(着付け&ガイド資料費500円)を、市民交流広場から山之口商店街まで歩きながら、催しを大いに盛り上げます。

【予告】

*「春季堺文化財特別公開」が、開催されます

春季堺文化財特別公開の開催日が、4月5日(木)～8日(日)に決まりました。今春のテーマは「明治150年!サクラ咲く堺を満喫」方違神社、旧天王貯水池の各所です。明治天皇玉座記念館は初公開です。

春季堺文化財公開責任者会議を3月16日(金)に、同報告会を4月27日(金)に、14時から堺市総合福祉会館第1会議室で開きます。

*各プロジェクトの活動

- ・イベント工房 … 道明寺まちづくり協議会より依頼の「道明寺まつり」に使われる菅原道真公の衣装が完成しました。
- ・華美芝居 PJT … 2月は、21日(水)日置荘会館・23日(金)妙國寺で「堺事件」を公演しました。3月は、18日(日)山之口商店街・21日(水・祝)堺市市民交流広場にて、公演。4月以降も、公演依頼が多数あります。
- ・JA情報誌[CROP] … 3月号は「西区平岡町」、4月号は「中区大野芝町」です。
*「スケッチ集」を、観ボラ・オフィスで好評販売中です。
- ・「堺おもしろ話 其の2」を、今期中に発刊予定です。
好評完売だった「堺おもしろ話 其の1」に続き、堺観光ボランティア協会ご案内人数200万人突破記念として、「堺おもしろ話 其の2」が発刊されます。
「巨勢金岡」や「陶器七不思議」など堺に残るおもしろ話が繰り広げられます。

ツアーガイド部ニュース

*26期生対象「ツアーガイドの為のまち歩き勉強会①」を、実施しました

第1回は、1月30日(火)に七まちを歩きました。江戸時代の細い道が残り、懐かしい佇まいの家々や、海船政所跡での説明ではその広大さに驚きの声が上がりました。

先輩会員も、新会員も模擬ガイドをし合ったりと、楽しい勉強会になりました。

講師の西本会員の「お客様を退屈させないためにも、話題は多く持っていることです。」との言葉に、皆さん大きく頷いておられました。参加者は26期生8名とその他5名でした。

* 26期生対象「ツアーガイドの為のまち歩き勉強会④」を、実施します

今回は、千利休屋敷跡から茶人達の足跡を巡ります。無念の中、自刃した三好元長の墓所も含むコースで、臨江寺が最終になります。新会員も先輩会員の参加も歓迎します。

- ・日時：4月24日（火） 9：30～12：00頃
- ・集合場所：千利休屋敷跡 解散は臨江寺
- ・制服、名札を必ず着用して下さい。
- ・参加希望者は、4月の活動予定表に○を入れて下さい。

* 30-1月ガイド実施報告(敬称略)

1月のツアーガイドの総件数は 59 件、ご案内したお客様数は 1246 名、派遣ガイド数は 87 名です。

★1/8月 13:00-16:30 あいたい会 17名（徒歩）

南宗寺・小島屋・山之口商店街・開口神社・晶子生家跡・利晶の杜
ガイド：弘瀬

【一言】高校の同窓の皆様。兵庫県の北部の高校ですが、会社勤めの頃は堺に住んでいたとおっしゃる方が3人ほどおられ「南国のようなイメージのフェイクスがどうして堺にあるのかずっと知りたかった。」と質問され、説明しました。60代後半の皆様「今また青春」と楽しそうに歩かれました。

★1/9火 10:20-14:10 （公社）堺観光コンベンション協会 JRふれあいハイキングの下見 1名（徒歩）

方違神社・反正陵・平成の森・履中陵・いたすけ古墳・御廟山古墳・百舌鳥八幡宮
ガイド：寺口・林茂

【一言】堺観光コンベンション協会の方と4月のハイキングコースの下見です。コース、時間、トイレの場所など具体的に共通認識をして本番に備えることが出来ました。1万5千歩を歩き、正月になまった体にカ！を入れました。

★1/11木 13:40-15:44 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 28名（観光バス）

展望ビュー・利晶の杜
ガイド：川上浩・奥野

【一言】阪急得意のミステリーツアー。堺に来ることを知らない人が多かったようですが、好奇心旺盛の皆様には楽しんで頂けました。和歌山に行く前の来堺。短時間のガイドでしたが、冬晴れで展望ビューからの眺望も良く、また「嘘八百」のPRセットや利晶の杜の福助人形の展示に関心を持たれ、大いに楽しんで頂けた様です。宿泊は海の近くの黄色い建物と聞かされていたそうです。マリーナシティのことです。

★1/12金 15:15-16:30 ホストストリートツアー Graduate School 34名（定点）

府大植物工場
ガイド：高田

【一言】対の大学生の社会見学の一環としての日本旅行。昼過ぎまで京都におられ、植物工場の後は、アトレットシアに行く予定だそうです。実質1時間ほどの案内となりました。通訳さんがしっかり話してもらえたのでうまくいきました。

★1/13土 14:30-17:00 福山オート観光 住吉大社と世界遺産候補地めぐり 34名（観光バス）

展望ビュー・仁徳陵・博物館
ガイド：西井・稲田・大西（研修）

【一言】新春一弾のおもてなしでした。ほとんどがご夫婦での参加でした。熱心に案内を聞いて下さいました。「大阪府に世界遺産が一件もない」と言うのが驚いていらっしゃいました。見送りの車窓か

ら満面の笑みを頂きとてもうれしく感じました。

★1/13 土 10:00-15:00 クラブツーリズム関西テーマセンター レトロな街・堺ぶらり散歩 22名(徒歩)

展望ロビー・南宗寺・武野紹鴎屋敷跡・開口神社・利休屋敷跡・利晶の杜

ガイド：小出・林マ(研修)

【一言】堺の歴史を楽しんで頂きました。限られた時間の中での案内など勉強になりました。

★1/13 土 9:00-16:00 ワールドツアーサービス 神原校区老人連合会 24名(観光バス)

百舌鳥八幡宮・仁徳陵・出雲大社大阪分祀・よしの・利晶の杜・伝産会館

ガイド：川上由

【一言】30分前に到着されたこともあって、時間に余裕がありました。仁徳天皇陵古墳の拝所前に立ち寄りました。春の特別公開の百舌鳥八幡宮での経験が大いに役立ちました。出雲大社大阪分祀では大社独特の御参りの仕方でお客様と一緒に参拝し、拝殿の中にも入場でき皆さん大変お喜びでした。バスの中でのトークが大変多いツアーでした。

★1/13 土 13:00-16:45 ワールド・ワープ 秋桜会 18名(観光バス)

利晶の杜・方違神社・伝産会館・山口家・展望ロビー

ガイド：徳井

【一言】慰安旅行で来られたためか、午後からの案内にご機嫌な方が多く配慮が必要でした。堺のまちの道案内もしながら酔われている方に配慮しながらのガイドでしたが、最後の挨拶の時にお客様から拍手を頂けました。

★1/13 土 10:00-15:15 花紀行 33名(フリーチケット)

開口神社・シティH青雲荘・大安寺・かん袋

ガイド：呉竹・中西美

【一言】堺には何度も来て頂いているお馴染みのお客様。お正月なので、開口神社で正式参拝のスタート。続いて堺のグルメ「秤目御膳極」に舌鼓。メインはとっておきの大安寺の襖絵。事前予約の特別見学。めはかん袋の氷くるみ。お土産に深清鮎の穴子寿司や松井泉の焼きアノコ。お客様に大好評でした。

★1/14 日 10:40-13:00 中日新聞放送芸能部 1名(徒歩+路線バス)

仁徳陵・大仙公園・平成の森・履中陵ビューポイント・博物館・展望ロビー

ガイド：柴田友

【一言】30代の若い記者の方。古墳の取材で名古屋から近鉄特急で来られました。古墳ではその大きさに感心され熱心にメモと写真撮影をされていました。展望ロビーでは、古墳を上から見て満足されていました。阿倍野ハルカと明石海峡大橋も見えて、古墳以外にも簡潔に説明しました。喜んで頂きました。

★1/14 日 13:00-15:00 堺市文化財課 7名(フリーチケット)

宝珠院・妙國寺

ガイド：呉竹

【一言】読売新聞大阪本社堺支局の記者の取材でした。妙國寺に拝観に来られたお客様を宝珠院へのお墓まいりにお連れし案内しているところを撮影したり、記者の方がインタビューされた後、妙國寺に戻って堺事件の事をお話しました。1月16日の朝刊の大阪版に記事が掲載されました。

★1/16 火 10:30-16:00 クラブツーリズム関西テーマセンター 百舌鳥古墳群の謎に迫る 22名(観光バス)

展望ロビー・伝産会館・履中陵ビューポイント・博物館・仁徳陵

ガイド：西辻

【一言】百舌鳥古墳群の謎に迫るというツアーでした。どんな方達か、質問が多いのではと緊張しました。

★1/17 水 9:45-13:20 神姫バスツアーズ西脇 北はりま田園空間博物館 85名(観光バス)

展望ロビー・ナチュラルガーデン深井・方違神社

ガイド：佐伯美・新井・寺口・森口

【一言】天候不順などで到着が大幅に遅れ、行程の変更がありました。西脇市の道の駅に携わってい

る方々でした。おもにバスの中でのご案内でしたが、資料を回して見て頂き、少しでも堺の事を知って頂けるように説明しました。

★1/17 水 13:30-17:00 大阪観光局ウェルネスツーリズム 中国ブローカーファム 5名 (タクシー)

仁徳陵・伸庵・山口家・鉄砲鍛冶屋敷・まち屋カフェ Sacay

ガイド：辻

【一言】若い男の方は行政らしく「堺は歴史がいっぱいで、とっても魅力的な街ですが、インフラがもう一つだから、タクシーを使って回らないといけないのが難点ですね！」と指摘されました。でも、ご案内中は皆様感激されていました。特に和菓子の手作り体験に歴史を感じておられました。

★1/17 水 10:15-11:15 音遊株式会社 8名 (定点)

南宗寺

ガイド：樽野

【一言】雨の中のご案内。「せっかくなのに雨で」と残念がられるお客様に「雨ならではの風情がありますよ」と申し上げ、熱心に聞いて下さいました。

★1/18 木 13:30-15:45 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 38名 (観光バス)

展望ビュースタイル・利晶の杜

ガイド：松浦・箕野

【一言】好天に恵まれ展望ビュースタイルの見晴らしは最高でした。あべのハルカスや古墳も良く見えて大喜びされていました。さかい利晶の杜では立礼呈茶の時間配分もうまく出来てホッとしました。

★1/19 金 14:30-16:10 堺市ユーススポーツセンター 9名 (徒歩)

開口神社・晶子生家跡・利晶の杜・利休屋敷跡・祥雲寺

ガイド：井藤

【一言】開口神社へ初詣をしながらのまち歩き。普段からなじみ深い場所の歴史を知って楽しそうでした。

★1/19 金 9:10-16:15 クリエイティブエージェンシー なにわ歌劇団 34名 (観光バス)

仁徳陵・博物館・展望ビュースタイル・臨海ホテル・利晶の杜・利休屋敷跡・妙國寺・伝産会館

ガイド：中村博・澤井・猪子 (研修)

【一言】なにわ歌劇団の方々は、案内に笑いで応えて頂き、大変気持ちよく案内出来ました。また、「VR体験ツアーは良かったです」「子どもにも見せてあげたい」とおっしゃっていました。

★1/19 金 13:30-16:20 徳島経済同友会 27名 (観光バス)

仁徳陵・伸庵・南宗寺・伝産会館

ガイド：土井・山田豊・木地 (研修)

【一言】徳島経済同友会の代表幹事さんも来られた団体で、四国88か所世界遺産登録を目指しておられ、三好長慶一族や堺との共通の話題を持っておられ楽しく過ごして頂きました。

★1/20 土 10:00-15:00 千代 博様 6名 (徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・孫太夫山古墳・博物館・旗塚古墳・七観音古墳・平成の森・竜佐山古墳・仁徳陵・銅亀山古墳・磐媛歌碑・丸保山古墳・旧天王貯水池・反正陵・方違神社

ガイド：藤井安

【一言】健脚かつ好奇心旺盛なお客様方で大変多くの質問がありました。「ガイドが付いていなかったら判らなかった事が多かったと思う」と喜んでくださった。

★1/20 土 13:00-16:00 羽衣国際大学 13名 (徒歩)

利晶の杜・利休屋敷跡・晶子生家跡・大小路交差点・戎公園・伝産会館・榎並刃物製作所・山口家

ガイド：川上浩

【一言】大学の授業の一環。さかい利晶の杜で8分、利休屋敷跡で3分の強行軍にもしっかりと付いて来てもらえました。榎並刃物製作所と山口家住宅をゆったりご案内。

★1/21 日 10:30-12:30 (公社)堺観光コンベンション協会 JR 百舌鳥古墳群めぐり 5名(徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・グワシヨ坊古墳・孫太夫山古墳・仁徳陵
が仆：長尾

【一言】JRの駅のパンフレットを見て来られた大阪の女性、新聞記事を見て貝塚市の女性や京都のシニアの方、27期生の方々の参加でした。大寒に入ったばかりの日曜日でしたが、穏やかなウォーキング日よりで、皆様それぞれ興味のある話題で楽しみながら案内出来ました。

★1/24 水 9:00-12:30 あるこうかい富田林 11名(徒歩)

ニサザイ古墳・百舌鳥八幡宮・御廟山古墳・いたすけ古墳・寺山南山古墳・履中陵ビュースポット・平成の森・七観音古墳・旗塚/グワシヨ坊古墳・仁徳陵・収塚古墳・塚廻古墳・源右衛門古墳・みくにん広場
が仆：國領

【一言】外気温1℃、強風という厳しい寒さの中、流石「あるこうかい」の皆さん、元気に歩かれました。スケジュール通りに案内が出来ました。火を取られる熱心な方々で寒さも吹っ飛びました。

★1/24 水 18:00-21:00 (公財)堺市文化振興財団 3名(定点)

たけむら
が仆：川上浩

【一言】フェニチ堺準備室の皆様との懇談が仆。堺の歴史の面白さについて勉強させて頂き、こちらからも材料を提供しました。どの様にからめるか、成果が楽しみです。

★1/25 木 9:15-17:00 トラベルベストパートナー 泉佐野市更生保護女性会 52名(観光バス)

展望ビュースポット・伝産会館・山口家・美々卯・南宗寺・仁徳陵(車窓)・利品の杜・利休屋敷跡・晶子生家跡
が仆：山下真・山端・柴田友・江村(研修)

【一言】この冬最低気温の中でのが仆でしたが、寺町や南宗寺をめぐり、梅の花に春を感じ心が温まるが仆でした。

★1/26 金 13:30-17:05 ベトナム観光人材育成研修 8名(マイクロバス)

展望ビュースポット・仁徳陵・博物館・水野鍛錬所
が仆：永田

【一言】博物館のシニア・VR体験ツアーの感想は「古墳の保存が良く出来ていて、綺麗だった」との事です。最後の水野鍛錬所では殆どの方が買い物をされていました。初めての通訳を交えてのが仆だったので、今後のための良い勉強になりました。

★1/26 金 9:00-12:00 大都市労務担当課長会議 46名(観光バス)

仁徳陵・博物館・利品の杜・伝産会館
が仆：川上浩・木村義

【一言】政令市労務課長の皆様。前日の研修後の観光に同行。短時間でも堺の良さは分かって頂いたと思います。和やかにそれぞれの方の地元の話題を交えながら楽しい時間を過ごしました。

★1/27 土 16:15-17:30 JTB 西日本神戸支店 (株)TASAKI 8名(定点)

利品の杜
が仆：弘瀬

【一言】九州からのお客様で、南蛮貿易に共感を持たれたようでした。茶の湯館に入ったところの壁の絵を見て「長崎によく似ていますね。」といわれました。その後は、リーフレットの説明のなかに長崎出島の話のをいれたりして、楽しんで頂きました。

★1/28 日 10:30-12:00 (公社)堺観光コンベンション協会 0名

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・グワシヨ坊古墳・孫太夫山古墳・仁徳陵
が仆：金谷【一言】極寒で曇り空、やはり古墳めぐりハイキングには適さないようでした。

★1/28 日 10:00-12:45 NPO 法人堺なんや衆 20 名(徒歩)

風間寺・高須神社・薫主堂・鉄砲鍛冶屋敷・清学院・鉄砲館・河口慧海生家跡・榎並屋/芝辻屋敷跡・山口家・本願寺堺別院

ガイド：國領

【一言】「紀州街道沿道の歴史散歩」寒い中、皆さん元気にしっかりと歩かれました。

★1/29 月 10:00-11:30 JA 大阪泉州中部 営農センター 26 名(定点)

府大植物工場

ガイド：新井

【一言】泉佐野市から来られた、露地ハウス栽培をされている農家の方々と、溶液の衛生管理、LED 光源についての質問があり、熱心に説明を聞いて頂きました。

★1/29 月 13:45-15:50 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 36 名(観光バス)

展望ビル・利晶の杜・利休屋敷跡

ガイド：野澤・上野

【一言】仁徳天皇陵古墳の大きさにビックリと同時に「堺」の歴史の深さに感心しきりの皆様で、熱心に聞いて頂きました。お茶に関心のあるお客様が多く、ガイドの話に良く反応して頂きました。

★1/30 火 13:15-15:45 高山 4H クラブ 13 名(定点)

府大植物工場

ガイド：高田

【一言】高山の 4H クラブの農業後継者の団体でした。去年は神戸市西区の農家を訪問されました。植物工場は、初めての見学で、C21 棟では 50 m²で毎日 250 株のフルトマトを生産でき、C22 棟では毎日 5 千株のトマトを出荷できます、という話に驚いていました。それ以外に従来の植物生産と大きく違う要素があり、戸惑っているように見えました。

* 1 月度 堺市博物館での「仁徳天皇陵古墳VR (VR体験ツアー)」担当ガイドとお客様数

日・曜日	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日
ガイド氏名	川上浩	野澤中辻	柴田友木村義	細谷中辻	田辺	小川正	松井	野澤	川上浩木村義	西川川上由
お客様数	21 名	52 名	55 名	17 名	9 名	10 名	10 名	16 名	26 名	22 名
日・曜日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水
ガイド氏名	—	小川正	藤井安	田辺	西本	田辺柴田友	森口川上浩	森口	奥野	藤井安
お客様数	名	14 名	12 名	11 名	47 名	39 名	42 名	5 名	19 名	8 名
日・曜日	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水			
ガイド氏名	川上由	森口	小川正中辻	森口川上浩	田辺	松井	川上由			
お客様数	9 名	27 名	15 名	43 名	3 名	6 名	14 名			

【一言】

- ・天気は良かったが冷え込みがきつく、予想していた以上に客足が伸びなかった。これは正月明けで遠来のお客様が減っているからであろうか？堺市内からのお客様の実質増加が望まれる。
- ・ドラ池も古墳の壕も氷が張る極寒の日でしたが、遠方からの方が中心で「寒い中わざわざ来た甲斐があった！」と言って頂き、ほっとした。
- ・関東の大学歴史学のOBグループ(全員女性)でたいへん真剣にVR体験されていた。別の組は北海道からの親子連れ、古墳が無い北の国の道産子たちは大騒ぎの 20 分間、好対照の二組でした。
- ・国際文化交流で来日したフィリピンの男性ダンサーが古墳時代と今の違いがよく判った、と通訳の

学生が伝えてくれた。ダンスを通じて日本との交流を深めるそうです

企画部ニュース

* 南海・歴史探訪ガイドウォーク

1月26日に実行委員会を開催しました。

平成30年度のメインタイトルとして、南海・歴史探訪ガイドウォーク「幕末・維新編」を展開します。第1回は5月20日(日)堺が主担当で「産業維新を起こした知られざる堺の偉人達」を開催します。

* 大阪・奈良歴史街道リレーウォーク

1月19日に実行委員会を開催しました。

2月14日に第9回「ぐるっと外堀からめぐる郡山城天守台」が大和郡山市観光ボランティアガイドクラブの主催で開催され、参加者は124名でした。(関連記事有り)

次回は3月24日(土)に第10回「先人の知恵を感じながら大和川堤防・流域を歩く」を堺主催で開催します。9時30分新金岡町ブリック公園集合でJR浅香駅まで約9kmのコースです。皆様のご参加をお待ちしています。

* 大阪・奈良歴史街道リレーウォークに参加して

〔木村 義穂〕

1月19日(金)大阪・奈良歴史街道リレーウォークの第9回「ぐるっと外堀跡からめぐる郡山城天守台」に参加してきました。このところ厳しい寒さが続きましたが当日は好天に恵まれ暖かく絶好のウォーク日和で124名の参加者でした。(内、堺からは3名が参加)

郡山城は、今から438年前の天正8年(1580)筒井順慶が筒井から郡山に移った時に始まり、天正13年(1585)8月には豊臣秀長が郡山城に入城し、紀伊・和泉・大和の三か国百万石の太守として本格的な城造りを行いました。秀長の死後、文禄4年(1595)豊臣家五奉行の一人増田長盛が二十万石で入城し、城下全体を外堀で囲み総延長50町13間(約5.5km)の外堀を完成させました。自然の溜め池を巧みに利用した外堀で、当日はその外堀と城内の天守台及び城下町をぐるっとめぐってきました。

徳川時代になって水野勝成・松平忠明・本多正勝・松平信之・本多忠平等の徳川譜代城主の後、享保9年(1724)柳澤吉里が甲府より十五万石をもって入城、6代145年続きました。

大和郡山と言えば金魚が直ぐに連想されますが、金魚は今から約2000年前、中国南部地方で野生の鮓から赤色のものが発見され、我が国には文亀2年(1502)中国から渡来したというのが定説



のようです。私達は最初に日本に着いたところが堺と信じていますが、ここ大和郡山では同市における金魚養殖の由来は、柳澤吉里侯が甲斐の国から大和郡山へ入部のときに始まると伝えられているようです。

城下町をめぐっていると流石に金魚のまちで、ご存じの金魚が入った電話ボックスや自動改札機など、商店のショーウィンドーには工夫された金魚の飼育ケースが随所にあります。

メインテーマの天守台です。以前は崩落の恐れがあるため近づけなかったのですが、石垣の修復



と展望施設の整備が完成し「さかさ地蔵」や五輪塔・墓石等々の転用石を見ながら、展望台まで上ってきました。修復の機会に調査がなされ、付け櫓から入る入り口があったなど説明を受け興味をそそられましたが、何よりお天気も良く展望台からは大和郡山の町並みとともに、平城京太極殿・薬師寺・若草山までがくっきりと見え最高でした。

途中内堀から柳澤神社に渡るための「白澤橋」を再建中でしたがその費用3億円は郡山市民である柳澤家の子孫の寄付により行われていることを聞き驚かされました。

今回のウォークは大和郡山市観光ボランティアクラブの主催でしたが、素晴らしいガイドさんに恵まれ楽しいものであったと共に、大いに勉強させて頂きました。

次回第10回は3月24日に堺の主催で「先人の知恵を感じながら大和川堤防・流域を歩く」を開催します。9時30分、新金岡町ブリック公園集合です。大勢のご参加をお待ちしています。

定点ガイド部ニュース

*堺駅1月活動日誌より、

神明神社燈籠の刻印の紹介です。

神明神社入口にある一対の石燈籠に

「慶応戊辰四年二月十五日」と刻まれています。

この日は堺事件が発生した日です。

神主さんにお尋ねしたところ、「神社で調査したが、経緯を示す資料は現在まで見つからない」とのお返事でした。



※元号干支年月日が
縦書きで刻まれている。

<燈籠の背面>

*清学院障子戸の件

清学院活動日誌に、神棚の横にある棚（障子戸）は何と呼んでどういう使い方をするものなのかお客様に聞かれました、との記載がありました。

市文化財課より以下回答を頂きました。

「お住いになっていらっしゃる時は、お位牌を置かれていたようですが、本来的な用途は確認できておりません。また所有者の方にお会いする機会にお聞きしておきます。

*登録有形文化財について

清学院活動日誌に、登録有形文化財についてその審査は誰がするのか？のお客様からの質問に答えられなかったとの記載がありました。

国宝や重要文化財など、国や自治体が「指定」する文化財保護の制度とは別に、所有者が自ら申請することで「登録」される文化財の制度にのっとって定められる有形の文化財がある。建造物と美術工芸品の分野がある。

登録有形文化財（建造物）の登録基準は、「建設後50年を経過している」もので、かつ「国土の歴史的景観に寄与している」「造形の規範となっている」「再現することが容易でない」の三つの条件のうち、いずれかに当てはまるものとされている。

登録を希望する場合は、所有者と地元自治体の教育委員会との連絡・調査を経て、専門家による調査を行ったうえで、文化庁に申請する。（日本大百科全書解説より）

*2月14日（水）全体部会を行いました

下記は、各定点の1月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

A グループ (戒田 啓二)***堺市役所 21 階展望ロビー (担当：桧垣・平野)**

- ・平成6年生まれで法曹関係の社会人男性に、東コースの榎宝篋印塔を案内したところ、サンスクリット語に驚いておられた。
- ・宇治市からの老夫婦。孫が三国ヶ丘高校のサッカー部に所属し、仁徳天皇陵古墳の周囲をランニングしているとのこと。川渕三郎さんの話をしたら大変喜んでおられた。
- ・堺市内の車椅子の男性1名。いつも展望ロビーに来ているが、隅の台をとってもらってから、外の景色が良く見えるようになったと喜んでおられた。

***堺駅観光案内所 (担当：重永・今村)**

- ・西宮からの80才と75才のご夫婦を天気の良い中ミニツアー。「世界の丹下さんの生誕地をもっと立派にしてほしい」とおっしゃっておられました。
- ・本日は日曜日。「どこかお勧めの堺の観光スポットは？」とお聞きの大阪からの男性1人に宝珠院の土佐烈士の墓参拝と妙國寺をお勧めしたところ、タクシーで向われました。約1時間後再会して、「ありがとう、ケシ餅も買ってきた。よかった。」と喜んで駅改札口に向かわれました。

***大仙公園観光案内所 (担当：平木・堀・川上由)**

- ・名古屋から「古墳女子」の訪問。古墳を見ることを『墳活 (ふんかつ)』ということをお教えいただきました。
- ・世界文化遺産登録へのステップについて、「歩いて古墳めぐりをしたが、トイレの数が少なく、間隔も長い。」「古墳の周回コースにトイレがないので途中コンビニで借用した」など。(御廟山古墳、いたすけ古墳から履中天皇陵古墳へのコースと思われます)
また、この仁徳天皇陵古墳を中心とした古墳群をどのように魅せるかがポイント、パンフレット、案内の充実など、「お客様をがっかりさせることなどを、世界に発信されないように」との、貴重なご意見を複数のお客様よりいただきました。
- ・岡山市の女性。群馬県在住の娘と群馬県と岡山県にある『古墳』の話をよくし、「一度一番大きい仁徳天皇陵古墳に来てみたいと思っていました。一日古墳めぐりで楽しめます」とのことでした。

B グループ (中村 博司)***さかい利晶の杜 (担当：松村・柳)**

- ・大阪からの女性。千利休が好きだと言う。あまりに熱心に質問してくるので熱が入り、通常の60分を10分オーバー。一人でも利晶の杜のファンが増えるのは嬉しい。
- ・1月7日福助人形展のオープニングセレモニーが13時からスタートして、竹山市長や菅原神社の福娘さんが来館されました。
- ・嘘八百の映画を見てこられたというお客様。映画で使った茶器等の展示コーナーへご案内。ロケ地を示したパンフレットをお渡ししました。映画のシーンの事を楽しく話して下さいました。

***千利休屋敷跡 (担当：辻・梅影)**

- ・台湾からの女性1名がふらりと来られ、少しの英語でご案内しました。終わったら体が温くなりました。最近若い女性の一人旅が目立つようになったと思います。
- ・東京から1名。利休の話から大阪夏の陣へと話題が広がり、その当時の堺商人達の生き様と権力者との共存共栄などで話が盛り上がりました。明日は妙国寺、南宗寺へ行くことを提案しました。
- ・四国からのご夫婦。堺の歴史に興味があり、いろいろ知りたいと思い堺へ来られた。
さすがに興味を持ってもらえるだけあって「旧港」は今どうなっていますか、また「旧の堺の中心

地」は何処で現在はどうなっていますか等々質問がありました。

*** 山口家住宅 (担当：國領・石川)**

- ・土佐出身で現在大阪にお住いの年配女性が、コメの間屋をしていた子供の頃の家によく似ていると懐かしがられてご覧になっていた。
- ・泉大津市の女性は、伝統産業会館で山口家住宅に沢山の福助人形が展示されていると聞き、訪れたとおっしゃっていました。
- ・初芝から来られたピアノ調律師といわれる男性は、昔は堺の町名を歌う方が多かったが、今は聞かなくなってしまった、と言われていた。

*** 清学院 (担当：澤井・林・佐野)**

- ・香港からの女子大生。片言の日本語が話せた。寺子屋の話をしたが「6～12歳位の男女83名がここで学んでいた」との説明に女の子がその中に含まれていることにびっくりしていた。当時の中国では女子が学ぶことなど無かったとの事。それでびっくり！
- ・台湾から67歳の女性。娘が府立大に留学中。毎年来ており去年は利休関連で南宗寺へ。たどたどしい日本語ながら色々質問されて勉強していた。「来年も来ます！」

C グループ (大橋 昭夫)

*** 南宗寺 (担当：中西慎・上野・澤野)**

- ・堺にお住まいのご夫婦と東京在住の娘さん。南宗寺に来た事がなかったので、こんなに立派だと思わずにびっくりしました。特に枯山水の庭は気に入りましたとの事。常時ボランティアがいるのか聞かれまた知り合いを連れて来ますと言われた。
- ・京都からのご夫婦。TVで家康の墓を観て一度見たかった。10分だと云われたが、20分で境内を案内した。水戸藩と三木啓次郎との関係に興味を持たれた。
- ・広島より女性3名。広島でツアーガイドをしており堺の名所旧跡を回っている。バスでお客さんを連れてきたいので勉強に来ましたとの事。

*** 妙國寺 (担当：小出・箕野)**

- ・宝珠院の公開が始まり、土・日・祝の9日間で116人が宝珠院を訪れました。妙國寺は10回目だが、宝珠院を見たくて拝観に来たという堺の男性もおられました。
- ・土佐出身で、中百舌鳥在住の方。新聞に載っていたとメモ書きを持ち此の寺へ来た。「蘇鉄の枯山水庭園に感動。なんで土佐の人が堺で死んだのか知りたくて、いても立っても居られないので来たが謎が解けた、土佐の人は、いごっそう（快男児）や。」
- ・福島県の母親と芦屋の娘さん。娘さんの主人は津田宗及の子孫の方で、利休ゆかりの南宗寺を拝観。そこでボランティアガイドに勧められ、妙國寺の蘇鉄の枯山水庭園と宝物資料館のお宝に大満足された。

*** 堺伝統産業会館 (担当：奥野)**

- ・和泉市の女性。実家が昔に衣料品販売店を営んでいて毎年、福助（株）から福助人形を頂いていたとのことで、今でもいくつか持っていますとお話でした。
- ・奈良の男性。大阪を色々観てきたが、「堺の歴史はすごいですね」とおっしゃって頂いた。

*** 自転車博物館 (担当：大橋・溝)**

- ・福井からの親子連れ。息子（小6）の社会の教科書に3Fの写真が出ていたのでの来館。自身はイタリア製の自転車を所有されている。

- ・「何故堺に自転車産業が発展したのか？」のご質問に、堺鉄砲鍛冶職人が明治時代の賃貸し外国自転車の修理・部品生産を手掛け、遂に完成車を作りその後先駆者の努力で発展した経緯を案内し「なるほど」と納得頂いた。

広報部ニュース

* 公開講演会・シンポジウム開催

2月15日(木)14時から堺市総合福祉会館に於いて公開講演会を開催致しました。

6階大ホールは、参加人数300人を超えるお客様で、会場全体が熱気に包まれていました。第1部は宮本勝浩名誉教授の基調講演、第2部は狭間副市長、川上理事長を交えた鼎談で、お三方の生トークで盛り上がりました。発案から一年の大きな行事が無事終了しました。今回は(公財)堺都市政策研究所との共催で、手話通訳や要約筆記を同時に付けてのユニバーサルな講演会となりました。



* 貸出しDVDに新作品

協会オフィスにある貸出DVDに下記DVDを追加しました。

- 16-002 2016年全体研修会「慧海と堺」
- 17-001 北向道陳：第455回法要
- 17-002 NPO法人堺観光ボランティア協会 第10回定期大会
- 17-003 奉納：古墳ダンス
- 17-004 世界遺産国内推薦決定の瞬間
- 17-005 住吉祭り お渡し
- 18-001 「100年の美」一堺の伝統 和晒と染色―(堺注染和晒興業会・制作)
- 18-002 2018年 公開講演会・シンポジウム
「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産国内推薦決定記念」

《インフォメーション》

* 語学同好会のご案内

「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産登録の国内推薦されました。

1年後と予想される世界文化遺産登録に向けて、案内の為の語学を学びましょう！

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	3月 7日 (水)	14:00	南宗寺にて、英語ガイド学習
・韓国語同好会	3月 1日 (木)	9:50	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・中国語同好会	3月 15日 (木)	9:45	堺市立国際交流プラザ6階会議室

※上記サークル等に参加希望の堺観光ボランティア会員は、直接、会場で申し込みください。

* 3月度月間予定表

1	木	ぐるっと堺勉強会	9:30	集合:堺市役所市民広場
3	土	三好長慶公武者行列 in 大東、応援参陣	10:00	いいもりプラザ会場周辺
5	月	年次リーダー会議	10:00	堺市総合福祉会館
		運営会議	14:00	堺市総合福祉会館
6	火	留学生研修・企画部	10:00	堺市総合福祉会館
		ぐるっと堺勉強会	9:30	集合:かに道楽前
7	水	伝統産業会館 連絡会議	11:00	堺伝統産業会館
8	木	定点ガイド部Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		鉄砲鍛冶屋敷調査協力	10:00	鉄砲鍛冶屋敷
		ツアーガイド部会議 (見学可)	13:30	堺市総合福祉会館第2会議室
9	金	定点ガイド部B・Cグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		企画部会議	10:00	堺市総合福祉会館
11	日	さかい利晶の杜 開館3周年企画 文化講話対談「天王寺屋と堺」	13:00	さかい利晶の杜
12	月	定点ガイド部全体会議 (見学可)	9:30	堺市総合福祉会館
		「さかい利晶の杜」定例調整会議	16:00	さかい利晶の杜
13	火	留学生ガイド体験研修	10:00	展望ビル・仁徳天皇陵拝所
		自転車ツアーガイド研修	10:00	花と緑の交流館1階多目的ホール
			14:15	
13	火	J A「CROP」取材 中区大野芝・新家町周辺	9:30	集合:大野芝バス停
		研修部会議 (見学可)	14:00	堺市総合福祉会館4階研修室
15	木	総務部会議 (見学可)	14:00	堺市総合福祉会館2階
		<協会ニュース4月号>原稿締切り		<広報部>
16	金	広報部会議 (見学可)	10:00	堺市総合福祉会館第1会議室
		事業部会議 (見学可)	13:00	
		春季堺文化財特別公開責任者会議	14:00	
18	日	利晶の杜3周年・山之ロストリートフェスティバル	10:00	山之ロ商店街一帯
20	火	五者懇談会	10:30	堺市役所 観光部会議室
21	水	Mina さかい「リンクスクエア18」堺伝統産業の集い	10:00	堺市市民交流広場 Mina 堺
23	金	自転車博物館勉強会	10:00	自転車博物館
24	土	第10回大阪・奈良歴史街道リレーウォーク	9:30	集合:新金岡町ブリック公園
		第20回企画ツアー「伝統産業と町家体験」	13:15	集合:堺伝統産業会館前
26	月	「協会ニュース4月号」印刷作業	10:00	観ボラ・オフィス
		「さかい利晶の杜」運営会議	13:30	さかい利晶の杜
		J A「CROP」編集会議	14:00	山之ロプラザ
27	火	ツアーガイドの為にまち歩き勉強会③	9:30	集合:堺伝統産業会館
		部長会議	9:30	堺市総合福祉会館
		「協会ニュース4月号」発行作業	10:00	観ボラ・オフィス
28	水	全体研修会「戦国期 堺人物伝一牡丹花肖伯を中心に一」	10:00	堺市総合福祉会館5F大研修室
30	金	全体研修会「戦国期 堺人物伝一牡丹花肖伯を中心に一」	14:00	堺市総合福祉会館5F大研修室
【予告】				
春季堺文化財特別公開			4月5日(木)～8日(日)	
春季堺文化財特別公開 報告会			4月27日(金)	

《ガイド便利MEMO》

* 「史跡土佐十一烈士墓」の案内

堺港に上陸したフランス軍艦水兵と土佐藩士が衝突した「堺事件」の解説、妙國寺で切腹した土佐藩士 11 人を葬った土佐十一烈士墓への墓参希望者への案内は、妙國寺で受付けしています。宝珠院への墓参は当協会員が同行いたします。土・日・祝のみ公開、4月以降未定

《ガイド便利MEMO》PART 2

* 施設、店舗の3月の休館日(休業日)について

・山口家住宅・清学院	(休館日) 6 日(火)、 13 日(火)、 20 日(火)、 27 日(火)、
・堺アルフォンス・ミュシャ館	(休館日) 5 日(月)、 12 日(月)、 19 日(月)、 26 日(月)、
・日本庭園	(休園日) 5 日(月)、 12 日(月)、 19 日(月)、 26 日(月)、
・堺市博物館・伸庵	(休館日) 5 日(月)、 12 日(月)、 19 日(月)、 26 日(月)、
※VRツアー・古墳シアターは、5 日(月)、12 日(月)、19 日(月)、26 日(月)は観覧可です。	
・自転車博物館	(休館日) 5 日(月)、12 日(月)、 19 日(月)、 26 日(月)
・堺伝統産業会館	無休です
・さかい利品の杜	(休館日) 20 日(火) ※観光案内展示室は、無休です
・大寺餅本店	(休業日) 13 日(火)、 20 日(火)

* J : COM堺「堺シティレポ」3月の放送予定

堺市広報課より3月のJ:COM堺の「堺シティレポ」放送予定が入りました。放送された場所に行く方法や概要など、問い合わせがあるかも知れませんので、注意して見ておいて下さい。

J : COM堺 11 チャンネル 15 時 00 分～15 時 15 分、22 時 15 分～22 時 30 分

※特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合があります。過去の番組は堺市のホームページでもご覧になれます(一部を除く)。堺市チャンネル(検索)

3 月	2 日(金)まで	堺っ子を育む堺の教育
	3～9 日	支え合い、いきいき暮らせるまち 堺
	10～16 日	いつでも安全安心 堺の水
	17～23 日	未来につながる堺っ子の学び
	24～30 日	みんなで支える堺の子育て

《写真ニュース》

* タヌキが棲む「いたすけ古墳」で樹木伐採スタート

2019 年の世界文化遺産登録を目指す百舌鳥古墳群の前方後円墳「いたすけ古墳」(堺市)で 13 日、大きくなりすぎて墳丘を傷つける可能性のある樹木の伐採が始まった。登録のためには古墳の適切な管理が必要で、堺市が約 150 万円かけて後円部の竹など約 50 本を伐採。濠(ほり)にはえた葦(あし)も取り除く。いたすけ古墳は市が管理し、立ち入りを禁じている。この日は作業員がゴムボートで濠を渡り、墳丘の裾から濠に向かって繁茂し、墳丘が崩れる原因になる竹などをチェーンソーで1本ずつ伐採した。糞などで鳥が運んだものが育ったとみられ、竹は 20 メートル近くあるものも。市は墳丘の保護のため 18 年度以降も伐採を続ける予定だ。一方、古墳には 20 年以上前からタヌキの家族がすみ、古墳にかかる朽ちた橋に出没。タヌキ目当ての観光客の姿も。古墳の前に住む男性(78)は「樹木の管理は必要だがタヌキがすむ周りの木は残して」と話している。

* 写真はいたすけ古墳の墳丘が崩れるのを防ぐため、竹を伐採する作業 (2/14 撮影)



<トピックス - 1>

1月号から引き続き3回目、明治初めの日本のリーダー達の国を作る気概が感じられます。

*「大久保利通日記」から読み取る 大久保利通、税所篤そして堺 その3

～「大阪会議」の項1～

[小川 正夫]

大阪会議は、明治8年2月11日に大阪北浜の料亭「花外楼（当時は加賀伊）」で行われた大久保利通、木戸孝允、板垣退助、伊藤博文、井上馨という5人の明治の元勳の重要会談として知られています。しかし大久保日記と合せて木戸孝允日記も参照して見ると通説とは少し違った実態が見えてきます。

（以下●は大久保日記、○は木戸日記による。文章多少おかしいところもそのまま引用）

※写真は、花外楼に彫られたレリーフで、上左から大久保、木戸、板垣、下左から伊藤、井上



西郷、木戸という明治政府を共に作り上げた盟友で薩長の代表者でもある両雄の相次ぐ下野により孤立した大久保は、西郷に対してはその性格を知りすぎているため説得は諦め、長州閥のトップである木戸に焦点を合わせて彼の政府への復帰を図ります。その為に同じ長州人で、参議として政府に残っている伊藤にその斡旋を相談したのです。

●明治7年12月8日；「税所氏同道 伊藤氏へ訪ヒ 拙者勘考ノ筋有之及内談候」

大久保は、この伊藤宅への訪問に、凱旋祝いに在京していた税所を同行しています。

伊藤博文の晩年の談話として伝わる逸話によれば、大久保は木戸に政府を任せて自分はそれに従っても良い、木戸の説得の為山口まで出向く、とまで言ったとあります。

伊藤は、大久保の願いを書状に記し12月19日に木戸に出状しますが、大久保はその返事を待つことなく、取りあえず12月24日に東京を出て大坂に向かいます。木戸が伊藤からの書状を見たのは、まさしくその12月24日でした。

○12月24日；「大久保参議是非余に面会して後事を相談致し度趣有之・・・」

大久保見込の邊 余平生の宿意に符合いたせし云々・・・」

○12月27日；「一月三日上坂を決せし趣き電信を以て報知せり」

3日間の熟慮がありましたが、木戸は大久保の懇請に応じることを決意します。木戸は岩倉使節団の一員として欧米を外遊した結果、日本を西洋に倣って、立憲君主国家として憲法を定め、国民の代表で構成される議会制度を固めなければならない、との信念を持ちましたが、これが「余平成の宿意」でしょう。これを実現する好機と見て、同じく外遊をした大久保であれば、それが分かるだろうとの目算があったことが、日記からは伺えます。

この電報は大阪に居た長州人の内海忠勝により、大久保の大阪の宿舎であった五代友厚邸に届けられ、会談の場所が大阪に決まったことに安堵した大久保は、翌日から堺の税所邸である「市村別荘」で五代、税所達と3日間囲碁三昧で過ごしています。以後2月16日に大阪を立つまでの約2か月間、大久保は大阪の五代邸と堺の税所邸を宿舎とすることになり、堺には6回、延べ12日間も滞在することになります。

大阪会議と総称される一連の会談を、順を追って見てみましょう。1月4日、大久保たちは堺から神戸まで出向き、木戸の到着を出迎え、木戸も大久保の宿に答礼に赴くという和やかな雰囲気の中で両者は再会、7日には五代邸で二人は囲碁を楽しんだりというウオームアップ後、やおら対談に臨みます。

●1月8日；「今日午後三時比ヨリ於三橋楼木戸氏へ出會 心事詳談吐露熟談致シ」

黒田子も入来一時比散ス」

○1月8日；「二時頃、大久保来訪同伴にて三橋楼に至る 是非余に帰京を勧め、

共に東京に至らんと云う 一昨年来の情実吐露談論・・・余の素願を達せんことを乞う 終に四、五時間費やし、不決にて再会を約す。

黒田 偶々来て酔狂 余亦不能無不平 2時過ぎ帰宿」

※右写真は天満橋ニュースカイハイツ前に残る

「三橋楼跡説明板（仮設）」

大久保が「心事詳談吐露熟談致シ」、木戸が「一昨年来の情実吐露談論」と記すように2時頃から始まった会談は、両者が本音を出し合う4～5時間に及ぶ迫真の議論となりますが、途中から薩摩人の黒田清隆が加わり、酒乱の悪癖が出たのか黒田が「酔狂」に及び、木戸と険悪となったようで、深夜1～2時頃結論が出ないまま散会となりました。

（※黒田の酒癖はつとに悪名高く、酩酊して妻を殺害したとの噂まで残っている）

結論が出なかったのは、黒田の酒乱だけのせいではなく、両者の想いに大きな相違があったからでしょう。大久保の狙いはあくまでも長州閥のトップである木戸に政府に戻ってもらい、政権を強固にすることにあり、佐賀の乱を初め、不平士族の騒乱が勃発する不穏な情勢、欧米列強に比してまだまだ脆弱な国家体制で、早急な議会制の導入は更なる混乱を生み、新生国家の瓦解につながりかねないとの考えでした。一方、木戸は欧米に追い付くにはまず立憲君主制という形を整えるべき、との考えで、理想主義的な木戸の主張には、現実家の大久保は簡単には同意できなかったのでしょう。



＜トピックス－2＞

あなたは、北向道陳をご存知でしょうか？

＊北向道陳忌 一千利休の才能を見抜いた目利き＊

〔長江 幸代〕

堺のまちの中心、堺区中之町東にある妙法寺に於いて北向道陳法要会が行われた。

1月18日（木）朝からピンと張りつめた空気と優しい光が、道陳の菩提寺である境内をつつんでいた。北向きの茶室を設けていたという道陳さんは、この清々しさと丁度良い光を好んでお茶を点っていたのだろう、と自分なりの解釈をする。当日のパンフレットには、「あなたは北向道陳をご存知でしょうか？」と書かれていた。もちろん知っていますよ、千利休の最初の師。利休屋敷跡で毎回お客様にお話しています。でも、それ以外にというと・・・妙法寺副住職・佐々木妙章さんも「資料がほとんど無いんです」とおっしゃっていた。そんな条件の中で華美芝居部隊が依頼を受け、紙芝居を制作することになった。今朝4時に完成したという、湯気の上がっていきそうな華美芝居、本日がその

お披露目公演です。読み手の名調子と太鼓が合いの手を入れるスタイルで、お客様もすーと聞き入っているように見える。私も同じように引き込まれていき、道陳さんが見えてきた。それでは、副住職のお話も含めて少しまとめてみますね。

1557年三好長慶がこの場所に南宗寺を造る前の時代、天文法難で京都から移り来た日祐上人が開



山、草屋道賀の一族・石津屋宗榮の一門・北向道陳らが妙法寺を再興する。境内には六坊あり、道陳さんはその内の一つの檀家であった。どこに住んでいたのでしょうか。おそらく妙法寺横の通りを西方向へ、山之口筋と交わる辺りに屋敷があっただろう、という事です。親友・武野紹鷗とご近所。本業は、という漢方医。茶の道は医術に通じる、と言ったとか。道陳さんの娘は医家の竹田定信に嫁いだ。男子のなかった道陳さんが亡くなるとその遺産を受け継ぎ、『天王寺屋会記』に北向円璣の名で登場するのがこの人です。当日も末裔の方が

和泉市から来られていました。

妙法寺には道陳遺愛の手水鉢が残されているらしいが、特定は難しい。お茶席から庭を見て、これかな？これよねー。そうこうしているとお茶菓子の「利休餅」が運ばれてきた。続いてお茶も頂き、楽しく美味しいお茶席に満足致しました。「茶々の会」メンバーよ、今日も満点！

今回でわかった事は、一番の目利きは北向道陳だったという事。利休の才能を見抜き、武野紹鷗の素質を見抜いていた道陳さん。そして、何と言っても妙法寺の二條半という通称名に因んで、二畳半のお茶室を造っていたのですから。最後に、妙章さんが「道陳さんの命日をお茶の日にしませんか」の言葉で締めくくりました。



《トピックス - 3》

平成29年度会員交流会が1月23日に伊丹方面で、そして1月31日に葛城方面でそれぞれ行われ、各地の歴史や文化に接すると共に、観ボウ会員相互の親睦を深めることができました。

参加した会員より感想文が寄せられましたので紹介します。

* 29年度会員交流会に参加して

[中島 英治]

1月23日(火)バスにて堺東市役所より、寒空のなか27期の面々、石川さん、小笠原さん、中島の個性派3名はバス後部座席に陣取りました。

目指すは戦国の古城跡、有馬城や行基ゆかりの昆陽寺、猪名野神社、旧岡田家住宅(店舗兼酒蔵)などの奈良時代から今までの歴史溢れる街並みまでの約小一時間程の伊丹市へのバス旅でした。堺からちょっと離れる高速も渋滞しながら。

しかし、神戸の大地震の悲惨な惨害にもめげずに、街並みを復活されたエネルギーを旧岡田家でのビデ



オには心から感動しました。と同時に途中主要拠で丁寧なガイドをありがたく拝聴したうえで、ほぼ千五百年を感じたと同時に、近畿にはありがたい歴史遺産が至る所にあるんだなと感動も覚えました。そんなこんなで、帰りのバスは満足感あふれる気分には満ちていました。ありがとうございます、の感謝しかありません。

* 29年度会員交流会「昆陽寺と荒木村重の有岡城跡を訪ねる」

〔北野 しどり〕

1月23日(火)にバス2台69名の参加で市役所市民広場からの出発でした。長寿蔵から伊丹市文化財ボランティアの会の方と合流、車中で伊丹市の概要、岩谷遺跡、御願塚古墳等の史跡や行基の足跡等の案内をしていただきました。

行基ゆかりの昆陽寺は昆陽池の傍に施療院として、旅で困った人や病人たちの「こや」として建てられたものだそうですが、現在の建物は江戸時代に建て直されたものです。山門、観音堂、二天像は兵庫県の有形文化財の指定を受けています。今回は行きませんでした。昆陽池は埋め立てられて2/3ほどの広さになっています。池の中心には日本列島が形造られ野鳥の楽園になっていて「行基の鰯」も住んでいるそうです。

昼食をとった長寿蔵は「白雪」で知られる小西酒造の酒蔵でしたが、阪神・淡路大震災後レストラン、ミュージアムに改装されお土産を買うことができました。

昼食後徒歩で有岡城跡、旧岡田家住宅、猪名野神社と案内していただきました。有岡城は我が国初の「惣構え」の城で南北1.7km、東西0.8kmもあったそうですが廃城になってしまい、現在本丸部分が史跡公園になっていて石垣等が見られます。その史跡公園からは国際姉妹都市締結5周年記念にベルギー王国のハッセルト市から贈られたカリオンの塔が見えていました。また有岡城主であった伊丹ゆかりの荒木村重は、信長死後堺に移り住み利休七哲の一人と言われ南宗寺に葬られたそうですが、お墓が残っていないのが残念です。

伊丹市文化財ボランティアの会の皆様には詳しくご案内していただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。堺にお越しの時には、今度は私達のご案内させていただきます。また研修部の皆様ありがとうございました。

* 29年度会員交流会に参加して

〔林 マリ子〕

堺観光ボランティア協会の会員となり半年、初めての交流会参加です。

真言・浄土両宗を奉じる當麻寺にも関心は有りましたが他の会員さんとの交流を何よりも楽しみにしておりました。



葛城に到着、地元のボランティアガイドさん3名に出迎えて頂き3班に分かれての見学。最初の講堂では「役行者・前鬼・後鬼像」のオーラに圧倒され、続く金堂では異国的雰囲気(古代中国)を漂わせた仏像の顔に歴史的ロマンを感じざるを得ませんでした。本堂にある當麻曼荼羅は中将姫が蓮糸で織り表したものを代々転写され受け継がれてきたとのこと。その繊細な描写は何とも見応えがあります。5月の「お練り行事」も、ぜひ見てみたいものです。

最後に訪れた中将姫ゆかりの石光寺では寒ばたんや蠟梅が鑑賞出来、花の学習にもなりました。ガイドさんの気配りの有る誘導や説明など新米ガイドの私には学ぶところが多々あり、昼食の釜めしも絶品で、楽しく有意義な交流会の機会を設けて頂いた研修部の皆様、ありがとうございました。

* 29年度会員交流会「當麻寺と白鳳文化の歴史を訪ねる」

[金銅 京子]

1月31日、29年度会員交流会第2弾奈良県葛城市コースに参加しました。葛城市は仁徳天皇の皇后、磐之媛の父葛城襲津彦の本拠地です。8時40分市民広場を出発。川上理事長の挨拶に続き研修部浜田さんの行程説明と班分けが行われ、40分足らずで葛城市に到着しました。駐車場で葛城市観光ボランティアの会のガイドさんと合流、資料を頂き早速見学に向かいました。今回は例年のように観ボラ制服を着用せず名札のみでした。制服無しは観光気分が増し楽しく回れたように思います。

當麻寺に向かう参詣道でガイドさんから興味深い話を聞きました。立派な家並みの玄關に掛けられている大きなしめ縄は當麻天神講(60人講)という元禄時代から継承されている講で當麻寺山内東にある天満宮周辺に住む人達60人で構成され、頭屋と言われる2軒を選び二年に一回古いしめ縄から新しいしめ縄に付け替える習わしで今は39人で維持されているそうです。當麻寺は白鳳時代に創建され現代に至る真言宗と浄土宗の両方を奉じる珍しいお寺です。當麻寺といえば薄幸の中将姫が蓮糸で一晩のうちに織り上げたと伝わる本尊の當麻曼荼羅が有名です。又、毎年5月に行われる「お練り」といわれる練供養会式は必見とのことでした。創建当時のままで残る東西両塔や多くの伽藍が建つ大きなお寺でした。

昼食は當麻寺門前の玉やさんで釜めし定食をいただきました。昔は旅籠だったという風情ある建物は県の登録有形文化財だそうです。

昼食後徒歩で石光寺へ。中将姫が蓮糸を洗い五色に染めたと伝わる井戸が残るお寺です。藁囲いの中で咲く寒牡丹が少し残っていました。与謝野晶子、鉄幹の歌碑もある美しいお寺でした。石光寺から置恩寺へ。国の重要文化財「十一面観音立像」は日頃は無住寺院のため公開されていませんが、当日は特別地元の方の計らいで拝見させて頂くことができました。高台にある置恩寺の境内から一望できた奈良盆地の眺めは悠久の昔からそんなに変わっていないように思えて感動しました。「道の駅かつらぎ」でガイドさんとお別れし、お土産(野菜)を買って堺への帰路につきました。寒い一日でしたが、ガイドさんの葛城市を愛する思いが伝わるご案内に有意義で楽しい一日を過ごせました。5月のお練りに是非行ってみたいと思っています。



<あ・ら・かると>

* 魅力てんこ盛りの美原区⑪ 最終回 一時宗のお寺「照林寺」－

[徳井 秀雄]

金光照林寺の宗派は、時宗で鎌倉時代の後半に、日本全国を巡り、遊行の旅にその生涯を任せた一遍上人を開祖とする宗派です。

一遍上人は1239年伊予(愛媛県松山市)の豪族河野家の次男として生まれ幼名は松寿丸と言い10才で仏門に入りました。12年間大宰府の聖達上人の元で学び一旦伊予に帰り、8年後に伊予を旅立たれ信州の善光寺での参籠(さんろう)により「二河白道図」を自分の本尊とされ、人々への化益(けやく)を決心されました。

1273年菅生(愛媛県)の岩屋寺での参籠(さんろう)を経て遊行の旅に出られました。北は奥州江刺から南は薩摩まで約16年間に渡って「一所不住」の遊行をし「南無阿弥陀仏」と書かれた念仏札を配る賦算(ふさん)



と「踊り念仏」を広めました。その様な姿から一遍上人は、「捨聖」・「遊行上人」と呼ばれます。

堺には照林寺・永福寺の二寺しかなく大変珍しい宗派の寺院です。現在の住職さんにお聞きすると、「照林寺の創建の時期や謂れ(いわ)は不明ですが、本尊の釈迦如来坐像の形式が平安後期の特徴を備えているみられるところから、その創設は、時宗の成立した鎌倉時代後期よりも古くなると思われます。



また、現在の本堂は残されている棟札によると、1694年照林寺二十一世の覚阿照光和尚によって再建されたもので建築の形は寄棟造りで、屋根は「しころ葺き」という珍しい形をしています。

照林寺の什物(じゅうもつ)としては、「照林寺逆修一結衆過現名帳」や「釈迦涅槃図」(写真)

「西国三十三観音図」などを所蔵しています。」とのことでした。

なお、今回をもちまして「魅力てんこ盛りの美原区」は終了とさせていただきます。長い間のご愛読、ありがとうございました。

《ニュース》

* 新品種 堺ブランド桜「与謝野晶子」が品種認定

【堺市報道提供資料】

堺市は21日、堺出身の歌人、与謝野晶子の誕生140周年にあわせ、桜の新品種「与謝野晶子」(愛称「晶子桜」)を開発したと発表した。市が約21年かけて独自に品種改良した。3月から市内の文化施設や公園に植樹する。晶子や俵万智ら女性歌人にスポットをあてた企画展も開き、観光集客につなげる。高さ約2メートルの低木で、堺市では3月下旬に開花する。花が濃い紅色のため「情熱的な歌風の晶子のイメージにぴったり」(竹山修身市長)という。公益財団法人日本花の会(東京・港)が20日付で新品種に認定した。与謝野晶子記念館(さかい利晶の杜)の敷地内で3月8日に植樹する。「希望があれば市内一円に広げたい」(同)としている。



堺市が独自に開発した新品種の桜
「与謝野晶子」

* 堺まち旅ループの実証試験運行終了について



観光周遊バス「堺まち旅バス」

堺市では、平成27年3月1日から、大仙公園周辺エリアと旧市街地エリア及び南海本線・南海高野線・JR阪和線・阪堺線の主な鉄道駅等を結ぶ交通ネットワークを構築し、観光客をはじめとする来訪者の利便性・周遊性の向上を図ることを目的として、試験的に観光周遊バス「堺まち旅バス」を運行してまいりましたが、このたび平成30年3月25日(日)をもちまして実証試験運行を終了し、実証試験の結果を踏まえ、今後より利便性や即時性の高い輸送形態を活用した周遊手段の確保をすすめてまいります。

平成30年 1月度 活動実績と内容

<会員の活動実績>

正 会 員 数	244 名
当 月 全 休 会 員 数	14 名
会 員 活 動 参 加 数	230 名

定点案内所	定 点 案 内 所	886 名
	事 務 局 ・ ガ イ ド 事 務	158 名
	展 望 ロ ビ ー ・ 学 童 ガ イ ド	3 名
ガ イ ド 活 動 小 計		1,047 名
ツ ア ー ガ イ ド		122 名
その他	会 議 ・ 研 修 会 ・ 勉 強 会	182 名
	イ ベ ン ト	174 名
	打 合 せ ほ か	341 名
会 員 活 動 合 計		1,866 名

月/日	その他の主な活動内容	活動人員
2/ 10	運営会議 於: 総合福祉会館	27 名
10~26	平成30年 新年会の準備ほか	45 名
12/26	協会の部長会議 (正副理事長と各部長)	20 名
16	五者懇談会 於: 市役所	9 名
17	平成30年 当協会の新年祝賀会 (来賓: 12名)	176 名
23/31	会員交流会(伊丹市周辺、葛城市周辺)	113 名

<来客数実績>

定 点 案 内 所 ガ イ ド	(件数)
堺 駅 観 光 案 内 所	56 名
市 役 所 展 望 ロ ビ ー	
一 般	1,972 名
学 童 ・ 先 生	143 名
大 仙 拝 所 前	2,509 名
南 宗 寺	524 名
山 口 家	570 名
清 学 院	209 名
利 休 屋 敷 跡	1,802 名
妙 國 寺	412 名
自 転 車 博 物 館	184 名
伝 統 産 業 会 館	767 名
利 晶 の 杜	1,773 名

ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	
ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	1,246 名

ミニ ツアー ガイド	堺 駅 観 光 案 内 所	11 名
	市 役 所 展 望 ロ ビ ー	35 名
	大 仙 公 園 観 光 案 内 所	37 名

特 別 公 開 な ど	
-------------	--

来 客 数 合 計	12,250 名
-----------	----------

当協会の創設(平成7年4月) 以来の御案内人数累計	2,007 千名
------------------------------	----------



【今月のワンポイントアドバイス】
庭のチューリップもグングン芽が伸びてくる季節になりました。1つの球根で何年も花を咲かせる為には



花が咲いている途中で花を切り取る勇氣が必要です、6月頃には花が枯れはじめるのでその前に途中で茎を切りましょう。

[編集後記]

協会の広報部として初めて外部のシンクタンクと共催で「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産国内推薦決定記念」の公開講演会を、タイガース優勝の経済効果等で著名な宮本先生をお招きしてお話を伺いました。登録での経済効果予測による数字はともかく日本人への文化的影響、特に堺の歴史の再認識(モノづくりの強み)が強調されました。

時あたかも、日本で唯一現存する「鉄砲鍛冶屋敷」(井上家)の蔵から見つかった歴大な歴史資料の調査結果が先月発表され、江戸時代、特に幕末にかけての鉄砲製造等技術が引継がれていたこと等、従来の歴史記録になかった画期的なもので、今後の調査の進展が楽しみです。

生島 英造 記